

私のすすめるこの1冊

梶山 直美 (教職キャリア高度化センター 准教授)

『前祝いの法則』

ひすいこたろう (著), 大嶋 啓介 (著)

この本は、前祝い＝予祝(よしゆく)という日本古来からあるものの、失われてきつつある独特なコンセプトを通じて、成功に向かう態度や行動を教えてください。まだ成し遂げていない目標や夢に対して、あたかも達成したかのように祝福の気持ちを抱くこと、これにより、成功への期待感やポジティブなエネルギーが高まり、行動力を引き出す効果があるということです。

私はこの本に出会ったことをきっかけに、月一回予祝会を大学時代からの友人と3年以上、回数にして40回以上継続し、未来の成功を先取りして楽しむ喜びとその効果を実感してきました。

成し遂げたことの一つはダイエットです。12kgの減量は容易な道ではありませんでしたが、達成したい体重を前もって友人に宣言し祝福することで、目標への意欲が高まったのです。それが、日々の小さな行動、努力の積み重ねに繋がり、当初は到底無理なのではないかと思っていたことが実現しました。

また、年代別ママさんバレーボールの全国大会出場も、前祝いの法則のおかげだと言えます。試合前には成功を予感し、不思議と窮地に追い込まれた局面でもベストなパフォーマンスを発揮することができました。結果、チームとしての目標を実現し、喜びの瞬間を迎えたのです。

予祝を共に続けてきた友人は高校教員です。友人は関わる生徒と予祝の考えを取り入れ実践することで、生徒が部活動で思い通り以上の活躍ができた、難しいと思われていた資格試験を無事突破したと、嬉しそうに報告してくれます。何人もの生徒が予祝の効果を実感する出来事を次々と引き起こしてくれると言います。

こういったアプローチは、教育現場において大いに活かされると感じます。教育に関わる私たちや皆さんにとって前祝いの法則は、子ども達の未来をポジティブな気持ちで祝福し、可能性を信じる姿勢を養うことにつながると思うのです。そして、子ども達の成長を前向きな気持ちで祝福することやそのマインドは、子ども達の学びに対するモチベーションや興味を引き出すことにもなると確信します。

『前祝いの法則』は、成功に向かう心構えや行動のヒントを提供するだけでなく、読む人の心を温かく励ましてくれるエピソードも満載です。自分の成功を引き寄せるため、これから関わるであろう子ども達に前向きな気持ちや姿勢を育むための指南書として、大いに役立つと思います。ぜひ手に取って、できるところから実践し、思い通りの未来を実現してください。



学修相談カウンター

京教の先輩が勉強や教育実習など、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？ぜひ気軽にお立ち寄りください。

【時間】授業期間の平日 2～4限のうち該当の時間

【場所】北館 2階 ラーニングコモンズ
時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する...などの場合はフォームでの相談も受け付けています。



図書館は、いつもみなさんの「まなび」を応援しています。

※詳しくは図書館ホームページにて

QRコードからもチェックしてみてね。



「ミニ講座」のお知らせ

大学院生の学修支援員による、ミニ講座を実施します。各自の得意分野や研究紹介、教員採用試験対策の事例紹介など、さまざまな企画を予定していますので、ぜひお誘い合わせの上お越しください！

【日程】

<11月28日(火)>

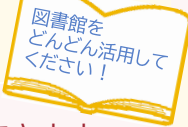
- ・2限(10:30～12:00)「ペンギンでもできる！参考文献の探し方～レポートと論文の違いとは～」
- ・3限(12:50～14:20)「国語科授業の教材研究について」

<12月4日(月)>

- ・2限(10:30～12:00)「私の教員採用試験対策」

【場所】北館 2階ラーニングコモンズ

※申込不要・入退室自由



電子書籍の試読とリクエストができます

実施期間:10月16日(月)～12月15日(金)

丸善雄松堂提供 Maruzen eBook Library の電子書籍10万点以上が5分間全文試し読みできます。

対象のタイトルには **試読** ボタンがついています。

もっと読みたい！と思ったら **リクエスト** ボタンから購入の依頼をしてください。

なお、購入するかどうかは、紙の本のリクエストと同じ選定基準で行います。



リクエストと投票で話題の本を読もう

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！

投票期間は **10月2日(月)～11月18日(土)**



後期もブックハンティングを開催します！

ブックハンティングとは、学生の皆さんが「図書館においてほしい本」を書店で選べる企画です。前期に参加しなかった方のご応募をお待ちしています！

【募集期間】11月20日(月)まで

申込制！

【申込方法】library@kyokyo-u.ac.jp 宛に、①学籍番号、②氏名、③当日の連絡先、④参加可能日、を明記して送信。件名は「ブックハンティング 申込」とする。この他、館内設置の申込書でも申込可能。

【店頭選書日時】11月29日(水) or 12月6日(水) 13:30～15:30

【場所】丸善ジュンク堂京都本店(河原町 BAL 内)
現地集合、終了次第解散

※詳しくは図書館ホームページにて

ぜひ、参加してくださいね！



前期ブックハンティングで選ばれた本を展示中です！



【展示期間】10月10日(火)～12月22日(金)

【展示場所】1階渡り廊下



図書館講習会のお知らせ

【実施期間】10月10日(火)～11月17日(金)

図書館ではさまざまな講習会を、10～11月中予約制で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から資料の利用方法を聞いてみませんか？

ご参加お待ちしております！

【申込方法】氏名・専攻・希望講座・希望日時(曜日・時間(平日 11:30～17:15))を明記の上

library@kyokyo-u.ac.jp 宛に前日までにご連絡ください。調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

【集合場所】附属図書館カウンター

※詳細は図書館 HP 等をご確認ください。

連動企画:

データベースの未契約オプションコンテンツトライアル
朝日新聞クロスサーチ:10月2日(月)～12月31日(日)

企画展示室

第5回教育展「大学の授業～理学編～」

「大学の授業～理学編～」と題して、京都学芸大学学芸学部から京都教育大学教育学部へと続いてきた理学科の歩みを、大学が保管している教具・装置・器具・資料などの展示を通して紹介します。
物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の5つの分野で、過去から現在に至る教育の変遷をご覧ください。

【会期】11月10日(金)～12月27日(水)

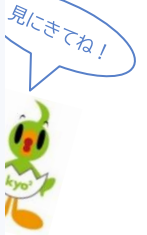
※11月12日(日)藤陵祭のため開館

※11月25日(土)学外者入館不可

【時間】図書館の開館日時に準じる

【会場】附属図書館 北館1階 企画展示室

要申込
※11/5 締切



<関連イベント>サイエンスワークショップ

(A)おいを科学する～こだわりの香水づくり～

日時:11月11日(土) 13:30～15:00

場所:理科共通実験棟 2階 第二共通実験室

(B)新しい理科実験!

マイクロスケール実験を体験しよう

日時:11月12日(日) 13:30～15:00

場所:A棟1階 化学共通実験室1A108

※(A)・(B)とも、見学のみ場合は申込み不要です

※申込方法等詳細はHPをご確認ください

京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、大学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください!

第38回の報告

YouTubeで公開されています。

【講師】吉安 徹(数学科 講師)

【テーマ】柔らかな幾何学



主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

こちらも開催しています

京都教育大学同窓会写真展

【会期】11月10日(金)～11月13日(月)

【場所】企画展示室 西側

児童書コーナー (南館1階)



今月の絵本カード(学生作)

『せかいでいちばん つよい国』

作:デビッド・マッキー

絵:なががわ ちひろ

出版社:光村教育図書



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【11月の開館日時】

・6日(月)、20日(月)、27日(月) 14:00～17:00

・10日(金)、11日(土)、12日(日) 10:00～16:00

※藤陵祭のため開催します

好評開催中!

第11回
京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー

2023年9月23日(土・祝)～

2024年3月25日(月)まで

※本学は連携参加大学です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **荻野 雄** (社会科学科 教授)

ゲオルク・ジンメル『レンブラント』(1)―「生の哲学」の他者認識論―

荻野 雄

京都教育大学紀要 2023, No.143, pp. 43-60
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9821>



近所のモールにカプセルトイの専門店がオープンしたので、先日覗いてみたところ、300円で哲学者の名言が一つ書かれた缶バッジの出る「哲学カンバッジ」なるガチャガチャを見つけました。取りあげられているのは8名の思想家で、プラトン、デカルト、ニーチェなど倫理の教科書には必ず載っている著名な人物に混ざって、ドイツの哲学者ゲオルク・ジンメル(1858～1918)も選ばれていて、「生の原級はそれ自体として既に比較級である」という彼の言葉のバッジがありました。

教科書で言及されることこそありませんが、このように生を鍵概念とするジンメルの哲学は思想の世界では広く知られています。しかしジンメルの作品は、ところどころに印象深くキャッチーなフレーズが織り込まれてはいるものの、全体としては非常に難解であるため、日本はもちろんヨーロッパの思想研究でも実は敬遠されてきていました。筆者は、ジンメルの近代論から勉強を始め、またジンメルの弟子であるクラカウアーのワイマール共和国分析を長く研究してきた関係から、ここ数年ジンメルの晩年の哲学の解読に取り組んでいます。

本論はそうした取り組みの一環として、ジンメルの哲学的主著の一つ『レンブラント』(1916)を解釈する試みです。17世紀オランダの画家レンブラントの肖像画を論じるこの著作の議論も、やはり極めて錯綜しているので、筆者はそれを、全体の基礎となっているジンメルの構想する「世界観の転換」、「他者認識」、「芸術創造」、「宗教論」という四つのトピックに整理しました。本論はそれらのうち前二者を扱っており、ジンメルが近代的な世界観の問題点をどこに見ているかを確認したうえで、それに取って代わるべき新たな世界観の地平で展開された、ジンメルの他者認識論を再構成しています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 143号に掲載されています。

※京都教育大学リポトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

11/1 館内整理日
11/10-12 藤陵祭
11/25 推薦入試(学外者利用不可)

2023年12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12/2 学校推薦選抜入試
12/23-1/4 冬季休業

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード →)



京大図書館 News No.278 (2023年11月号)
発行日:2023年11月1日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp